

# サポートプログラム

入学前は「どのような学びが得られるのか」という期待と同時に、「授業についていけるだろうか」という不安も同居しているでしょう。そのような不安を解消し、実りある2年間にするために、サポートプログラムを設置しています。

## 入学前サポート

### 》MBA準備講座

1年次の必修科目受講に向けて必要最低限の基礎知識を確認し、足並みを揃えることを目的として、希望者に対して数学・統計・会計の3講座(ビデオ学習)を予定しています。

MBAの各科目では定量分析が求められることが少なくありません。それには数学表現の理解が欠かせません。高校1年から数学から遠ざかっている方や数学アレルギーの方にもわかりやすい講座になっています。



### 》フレッシュマンキャンプ

例年本格的に授業が開講する前に、1泊2日の合宿方式でオリエンテーションを実施しています。まず、ビジネスゲームで会社経営を体験し、自分自身の学ぶべき点を再確認します。次に懇親会では、学生間、先輩、教員との交流を通じて絆を深めるとともに、その会話から2年間の生活をイメージすることができます。最後に、カリキュラムの説明を受けて、それぞれの学習計画を立てていきます。

(2023年度はコロナ禍のため学内でカリキュラム説明、ビジネスゲームを1日で実施)

## 入学後サポート

### 》オンライン対応

2023年度は、学生は原則として対面授業を受けています。ただし、学生がやむを得ない事情で対面授業に出席できない場合もあります。

国際マネジメント研究科では、ハイフレックス型(対面とリアルタイムオンラインの併用)の授業形式を採用し、オンラインで授業を受けることができるよう配慮しています(出欠の記録上は欠席とされます)。

さらに、授業は収録設備を使用して録画されますので、欠席した学生や復習したい学生は後日録画を視聴することも可能です。



# 授業外の学習機会

ABSには、授業以外にもさまざまな学習機会があります。講演会や海外のビジネススクールとの交流など、知的興味を刺激する企画が実施されています。主なものを紹介しましょう。

### 》青山MBAフォーラム

企業が直面するさまざまな経営テーマについて、外部の専門家やABSの教授が講演する公開セミナーです。年に数回、定期的に開催されています。

これまで株式会社セブン&アイ・ホールディングス代表取締役社長の井阪隆一氏、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社代表取締役社長のノルベール・ルレ氏、彫刻家の名和晃平氏、ゴディバ・ジャパン代表取締役社長のジェローム・シュシャン氏、ウシオ電機株式会社代表取締役社長の内藤宏治氏、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社代表取締役社長の千原いづみ氏、Zホールディングス株式会社代表取締役会長の川邊健太郎氏などがご登壇されました。

また、キャリア・フォーラムやマーケティング・フォーラムなど、分野に特化したフォーラムも年に数回実施しています。



### 》海外MBAとの交流

海外のビジネススクールの学生がABSを訪れた際に、交流会や特別授業を実施しています。ここ数年は、シンガポールのシンガポールマネジメント大学、アメリカのペンタリオン大学とアラバマ州立大学が、ABSを訪れています。特別授業内では、ABSの学生と訪問したビジネススクールの学生の混成チームでグループワークを実施しています。

### 》豊富なデータベース

大学図書館の所有するデータベースでは新聞記事検索、四季報や雑誌記事が検索できるシステムも充実しており、PDFで個人のPCやスマホ、タブレット端末で自宅でも閲覧することができます。また企業の財務データ、業界データ、マクロデータも利用可能です。

研究科でも独自に、海外の財務データや、商品やサービスのマーケットシェアなど市場動向を調べることができるシステムを取り揃えており、授業の予習、レポートの作成や研究に活用できる豊富な資源があります。

### 》学生の自主的な研究活動

MBAクラスでのグループワークを発展させて、学生の自主的な研究活動も盛んです。地域創生につながる地域の現地調査(愛媛県西条市、徳島県神山町など)、青学周辺に立地するいわゆる「青山企業」に関するマーケティング戦略のケース研究(その出版化-「ケースに学ぶ青山企業のマーケティング戦略」)、青山企業に学ぶコミュニティ型マーケティングなど、株式会社ビームスとの連携による渋谷区職員のクールビズウェア企画とSDGs活動提案など様々な領域で教員の指導サポートも得ながら学外でも学び、地域や社会に向けた貢献に取り組んでいます。



# 寄附講座

ABSでは、社会的責任(Social Responsibility)を果たす人材を養成し、広く社会に貢献していくため、企業・団体や地域との各種連携事業などを通して社会連携と貢献活動を推進しております。

寄附講座とは、民間企業などの外部組織から教育・研究振興のために寄付された資金や人材を活用し、研究教育活動を行うものです。2023年度は以下の14講座を開講しています。

## 地方創生実践論—神山プロジェクト

寄附団体: 認定特定非営利活動法人グリーンバレー

地方創生の先行事例といわれる徳島県神山町で、その推進役を果たしているNPO法人グリーンバレーの実践事例を具体的に学び、地域活性化の担い手人材を育成することを目的とする科目です。グリーンバレー理事をはじめ、現地で地域活性化に取り組む実践者・専門家からのレクチャーを学生が現地に出向いて学び、実際の取り組み事例を現地で調査する形式での授業を行います。

## コーポレート・コミュニケーション

寄附企業: ジェイ・ユーラス・アイ・アール株式会社

本科目は、アドバンスト・コーポレート・コミュニケーションの導入科目の位置づけです。

また、企業の経営者だけでなくIR、CSR、サステナビリティ部門などの社員が、機関投資家と建設的な対話を行うために不可欠なESG投資とサステナビリティ経営の基礎を、理論と事例を通じて学ぶ実践的な科目でもあります。企業のIR、CSR、サステナビリティ部門の業務に関心のある方、企業と市場の対話について学びたい方達の履修を歓迎いたします。

## 次世代デジタルイノベーション

寄附団体: 一般社団法人グリーンカラー・プラネット

社会の課題や企業の経営課題を起点としたDX = Digital x Physical = Innovationの最新事例を学ぶことができます。その傍ら、テクノロジーの進化論だけでなく、Business Model Transformation (BMX) が必須であることから、世界に存在する55のビジネスモデル・パターンやその組み合わせを学ぶこともできます。GAFAなどDX業界からオムニバス形式で招く講師陣が提供する多彩なインプットを礎に、学生たちは自らの頭で考え、DXがもたらすBusiness Model Transformation (BMX) のアイデアをアウトプットすることをゴールとします。

## アドバンスト・コーポレート・コミュニケーション

寄附企業: ジェイ・ユーラス・アイ・アール株式会社

コーポレートコミュニケーションオフィサーに必要な知識と技能の会得が目的です。具体的には、①証券アナリストや機関投資家の投資分析方法、②投資家広報(IR)、③サステナビリティ経営、④企業の財務政策、⑤長期の企業価値向上策やコーポレートガバナンス、⑥企業情報開示、⑦情報開示政策、⑧企業経営と資本市場との関係(コーポレートコミュニケーション)に対する理解を経て、最後に総合的なプレゼンテーションを行います。

## 次世代農業イノベーション

寄附団体: 一般社団法人グリーンカラー・プラネット

日本の農業の現状課題を踏まえ、農業の生産・加工・流通・小売・飲食・消費までのバリューチェーンごとに様々な異業種を掛け合わせて新たな農業のあり方を追求する、いわゆる「次世代農業」(スマート・アグリカルチャー)の考え方を紹介するとともに、産学連携から新しい農業の可能性や展開方法を検討します。さらにそのような観点での新しい農業従事者(「グリーンカラー」)の人材育成と将来的な拡大を目指します。

## 企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーションI・II

寄附団体: 公益社団法人日本証券アナリスト協会

企業分析をもとに業績予想、投資推奨を行うアナリストレポートの作成と日本株アクティブ運用の疑似体験を行います。講義を通じて財務分析・企業戦略分析の能力の向上を図るとともに企業価値評価の方法を習得することを目標とします。さらに、ポートフォリオの組成を通じて、銘柄選定方法を学ぶとともに、ポートフォリオ管理のためのリスク分析の考え方、パフォーマンスの評価の仕方について学びます。

## パブリックリレーションズ

寄附企業: 企業広報戦略研究所(電通PRコンサルティング)

パブリックリレーションズ(PR)とは、株主・従業員・顧客・取引先・地域社会などのステークホルダーとの合意形成や、メディアやネットを通じた世論形成を目指す、企業経営を円滑に進めるための重要な機能です。様々な経営要素とPRの関係を考察し、また多くの企業の具体的な事例を検証することにより、経営におけるPRの役割について議論を深めます。

## 観光業とグローバリゼーション

寄附団体: 青山トラベル・ソサエティ

青山学院校友会『青山トラベル・ソサエティ』は、観光・旅行関連業界で活躍する青山学院同窓生の組織です。エアライン、ホテル、旅行業など、観光産業の第一線で活躍する卒業生が登壇し、実務経験に基づき、業界の動向や課題について講義を行います。また、グローバリゼーションの文脈における観光業の役割について考察し、学生とともに議論を深めます。

## サステナブル・コーポレート・マーケティング

寄附企業: 株式会社ゴールドウイン

企業としての価値創造・伝達・提供である「コーポレート・マーケティング」は、企業の持続可能な経営やその実現が求められる時代において、ますます重要性を増しています。ゴールドウインが、従来のスポーツブランドのマーケティングに加え、事業と環境における2つのサステナビリティの両立を目指して取り組んでいる、コーポレート・マーケティングの実践事例を紹介し、参加者とともに考えていきます。

## コーチングとリーダーシップ

寄附企業: ビジネスコーチ株式会社

企業や組織が持続的に成長するためには、主体的なリーダーシップの発揮が必要です。コーチングはリーダーシップ開発にも役立つアプローチです。いま世界に求められているのは、全力でチャレンジするリーダーであり、変化を主体的に起こせる人材です。そのために「当事者」としてどのような課題を定義し、具体的に何に取り組むのか、学生と議論し、成果につなげることを目指します。双方向の対話を重視し、進行は丁寧に行います。

## 知的資産型経営

寄附企業: 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

激しい環境変化に対応すべく、企業は自社が保有するノウハウや技術、ネットワーク等無形の経営資源=「知的資産」から将来のキャッシュフローを生み出す新事業や経営の在り方を模索しています。本科目では、国内外企業や金融機関の取組事例を通じ、知的資産経営について学びます。企業の知的資産をどのようにデザインし、付加価値をどのように高めていくのかを考え、経営デザインシートを作成し発表することをゴールとします。

## DXと組織・人材戦略

寄附企業: EY JAPAN

デジタルトランスフォーメーション(DX)を成功させるにはDX時代に合わせた新たな組織設計、多様な価値観やスキルを持つ人材の活用、デジタル人材の育成などが求められます。本科目はグローバルコンサルティングファームが保有する先進事例の共有や関連理論の講義を行い、最終的に自社のデジタル人材育成やその他組織・人事課題を解決するためのアクションプラン策定と発表をゴールとします。

## 新時代の価値創造経営

寄附企業: PwCコンサルティング合同会社

未来の価値創造経営を担うビジネスリーダーがカバーしておくべき最新の主要経営トピックスについて、講義と参加型セッションを通じて学びます。各回では、顧客体験起点のビジネス戦略、サステナビリティ経営、企業価値の新常識、地方創生、エマージングテクノロジー、ダイバーシティ&インクルージョンなど幅広くテーマを取り上げ、グループで議論・発表します。

## イノベーションとアート

寄附企業: 株式会社リンクアンドモチベーションモチベーションエンジニアリング研究所

本科目は、アート思考によるイノベーションの創出を学ぶことによって、個々の起業家としての創出能力を開発するものです。破壊的イノベーション・詩的な技術を実現させるには、分析的・論理的思考に加え、直観的思考・自発的動機(アート思考)が必要になります。アート思考は現代アートのアーティストたちが作品制作するうえで発揮します。社会事象について丹念にリサーチを行い、根本から考え抽象化することで、常識を覆すコンセプトを創出するものです。

# 産学・社会連携活動

## 産学連携活動

ABSの授業運営には、各分野の専門家・実務家など非常勤講師(2023年度30名)が関わり、また多くのゲストスピーカーによる授業内講演が実施されています。

### MPP授業での産学連携

マーケティング分野の青山アクション・ラーニング科目群「マーケティング・プランニング・プロジェクト(MPP)」では、時代を先取りしたテーマで、企業・団体と産学連携しています。学生がテーマに応じたマーケティング戦略を策定し連携先に提案するプロジェクト型演習を行っています。

2021年度は、株式会社ディー・エヌ・エーと連携し、レッドオーシャン市場に隣接するブルーオーシャン市場を見出し、その市場のニーズに応じたサービスを開発し、さらに、そのサービスのマーケティング戦略を策定するプロジェクトを実施しました。デザイン思考の手法も取り入れて、5種類のプランを提案しました。2020年度は、健康経営をテーマに株式会社ティップネスと産学連携し、企業向けの従業員のための健康維持サービスの開発とマーケティング戦略の策定を行いました。

これまでの主な連携先:株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ティップネス、東神開発株式会社、株式会社パソナなど

## 地域連携活動

### 愛媛県西条市・地域企業との連携

青山学院大学の青山キャンパスは、江戸時代伊予西条藩松平家の上屋敷であった敷地に立地しており、西条市と青学とは歴史的なゆかりとつながりを持っています。ABSは、愛媛県西条市の第三セクターである「株式会社西条産業情報支援センター」(略称:SICS)と連携し、同所にサテライト型研究室を設け、西条市の地域研究及び、地域の企業などと連携した地域活性化に関する研究活動を行っています。(2018~2020年度:西条市地域研究事業支援補助金交付、及び青山学院総合研究所研究ユニットとしての研究)

### 「地域活性化のマーケティング/プランニング」授業などでの地域連携

これまでの主な地域連携先:長崎県(文化観光国際部)、渋谷区、徳島県神山町、静岡県熱海市、北海道別海町など



## 社会連携活動

### 団体との連携

日本証券アナリスト協会、日本CFA(Chartered Financial Analyst)協会などと連携したファイナンス関連科目開発、イベントの開催を行っています。

また米国PMI(Project Management Institute)日本支部とアカデミック・スポンサー契約を結び、学生のプロジェクト・マネジメント専門家資格の取得を促し、その専門家人材の育成を進めています。

### コミュニティ・ベースト・ラーニング(CBL)

CBLは、従来の「ボランティア」「サービス・ラーニング」概念を超えて、コミュニティの関係が深く、その活動の成長や革新につながる協働の学びの取り組みとされています。ABSでは、複数の科目でCBL要素が積極的に取り入れています。

例えば、一般社団法人グリーンカラー・プラネットの寄附講座「次世代農業イノベーション」では、東京近郊の自然農で受講学生が実際の農作業を体験し「ファーム・トゥ・テーブル」の仕組みを学ぶとともに、新たな農業へのイノベーションを構想し提案しています。



ABSは、持続可能な社会づくりに向け、上記のような教育・研究活動を通じてSDGsに取り組むとともに、そのような活動を担う将来人材の育成に特に力を入れています。

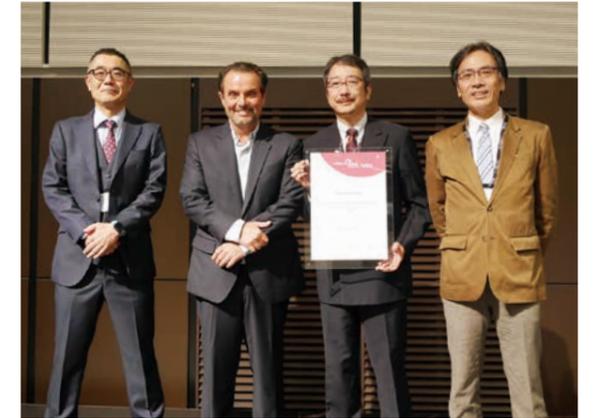
# 国際認証

## EFMD Accredited MBA

2022年2月、ABSのMBAプログラムは、ビジネス教育の国際的認証機関であるEuropean Foundation for Management Development(EFMD、本部:ベルギー)より、世界水準のビジネス教育を提供しているプログラムとしてEFMD Accredited MBAの認証を取得しました。現在、世界においては133校のみがEFMD Accredited MBA認証を取得しており、日本においては2校目となります。この認証取得後も審査は継続して受けることになり、さらなるプログラムの質の向上や海外ビジネススクールとの交流が期待されます。

### EFMDより評価を受けたABSの優れた点

- ☑ 社会の要請や時流に則した魅力的なプログラム
- ☑ 倫理、社会的責任、サステナビリティを軸とした教育方針
- ☑ 熱心、迅速、かつ継続的なプログラム運営
- ☑ 最適な学習環境の提供に向け一致団結している教員
- ☑ 公式、非公式両面での教員から学生への手厚いサポート
- ☑ オンライン学習や新しい教育方法に対応したITプラットフォーム



### EFMD Accredited MBAについて

EFMD Accredited MBAは、国際認証機関EFMDのビジネススクールにおけるMBAプログラムに対する認証で、MBAプログラムの国際性、倫理、社会的責任、及びサステナビリティ、実業界との関係性、プログラムデザイン、プログラムの運営、修了生の活躍度、教育・研究の質等に関して、76項目にわたり、多国籍の専門家で構成される審査委員会による書類及び実地調査により評価が行われます。その評価に基づき、10か国以上のMBAのビジネススクールと企業関係者で構成されるEFMDの審査委員会が最終決定を行います。

» 「EFMD」についての詳しい概要 <https://www.efmdglobal.org/>



## ABEST21

2019年3月、ABSのMBAプログラムは、ビジネススクールの国際認証機関であるThe Alliance on Business Education and Scholarship for Tomorrow, a 21st century organization (ABEST21、本部:日本)の継続認証審査を受け、その認証を継続するとともに、「認証評価基準がほとんどまたは全てが満たされ、改善すべき課題の少なく、教育研究の質維持向上が十分に期待でき、非常に優れている教育プログラムである」という最高位の評価を受けました。

» 「ABEST21」についての詳しい概要 <https://www.abest21.org/>

» 認証評価結果 <https://www.aoyamabs.jp/value/files/2020ninshouhyouka.pdf>

